

平成26年度

事業計画書

平成26年4月 1日から

平成27年3月31日まで

公益財団法人 **たんしん地域振興基金**

I. コミュニティ活動及び産業活性化の活動に対する助成事業（公益目的事業1）

〔事業の目的〕

営利を目的としないコミュニティ活動及び産業活性化の活動を行う団体等の事業活動に対する支援を通じて、豊かな住み良い地域社会の創造に寄与する。

1. コミュニティ活動に関する助成事業

（1）平成27年度助成事業の募集

平成27年度の助成事業を一般公募する。但馬地域の団体等が、但馬地域で行うコミュニティ活動に係る事業に要する資金の一部を助成する事業を行う。助成の対象とする事業活動は、営利を目的としたものでない、公募により申請があった次の①～⑥に掲げる事業である。

（1件100万円以内）

- ①文化芸術の振興に関する事業
- ②スポーツの振興に関する事業
- ③社会福祉の向上に関する事業
- ④自然環境保護に関する事業
- ⑤地域の振興、活性化に関する事業
- ⑥コミュニティにおける教育の普及に関する事業

（2）平成26年度助成事業への助成金交付

平成26年度の助成事業に対して、事業内容を精査しながら決定した助成金を交付する。（交付対象事業は、本日の理事会で決定した議案1の通り。）

2. 産業活性化の活動に関する助成事業

（1）平成27年度助成事業の募集

平成27年度の助成事業を一般公募する。但馬地域の団体等が、但馬地域で行う産業活性化の活動に係る事業に要する資金の一部を助成する事業を行う。助成の対象とする事業活動は、営利を目的としたものでない、公募により申請があった次の①～④に掲げる事業である。

（1件100万円以内）

- ①産業技術の研究開発等に関する事業
- ②商業・観光業振興に関する事業
- ③異業種交流に関する事業
- ④産業活性化に繋がる教育の普及に関する事業

（2）平成26年度助成事業への助成金交付

平成26年度の助成事業に対して、事業内容を精査しながら決定した助成金を交付する。（交付対象事業は、本日の理事会で決定した議案1の通り。）

3. 中小企業大学校の講座受講に関する助成事業

産業活性化の活動の一つであるが、特に、企業の人材育成に関する事業への支援として、但馬地域内の事業所の経営者・後継者・管理者等が中小企業大学校関西校の各研修コースを受講する場合、受講者の所属事業所に助成金を交付する事業を行う。（1件3万円以内、1事業所年間合計助成額6万円以内）

平成26年度に通期で助成の受付を行い、予算終了まで受付順に助成を行う。

Ⅱ. コミュニティ活動及び産業活性化の活動に対する自主事業（公益目的事業2）

〔事業の目的〕

当法人が自ら自主事業を行うことで、但馬地区におけるコミュニティ活動及び産業活性化の活動を支援し、豊かな住み良い地域社会の創造に寄与する。

1. 経営塾の運営事業

但馬地域の産業活性化を担う人材を育成するため、満50歳未満の但馬地域の若手経営者、後継者、幹部等を対象に、講師を招聘して、経営理論に裏付けられた実践的な経営講座を2年間に亘り開講する事業を行う。また、塾生間の交流に伴う異業種交流組織としての運営も本経営塾の活動の目的の一つとしている。

開催頻度は2か月に1回で、2年間（9月から2年後の7月まで）で12回の講座を開講し、その内訳は基礎講座を9回、実践講座を3回開講する。

2. 経営者セミナー事業

年1回、中小企業経営者を対象に、経営者としての資質を向上させるため、産業活性化やコミュニティに関するセミナー事業を但馬信用金庫と協賛して行う。（経営者に限らず一般の受講者も参加させる。）

第21回経営者セミナー

日 時	平成26年11月頃
会 場	豊岡市民会館（未定）
テーマ	未定
人 員	1,000人程度
講 師	未定

Ⅲ. 但馬地域の情報発信 並びに 特定団体等への活動支援事業

(その他の事業[相互扶助等事業]1)

[事業の目的]

当法人が、次の1～3に掲げる事業を行うことにより、但馬地域において、コミュニティ活動や産業活性化の活動を支援し、豊かな住み良い地域社会の創造に寄与する。

1. ホームページ「但馬の百科事典」運営事業

但馬地域において、コミュニティ活動や産業活性化の活動を支援するために、インターネット上に『但馬の百科事典』を公開して、但馬地域を紹介する情報発信活動を行っている。『但馬の百科事典』は、但馬に関する9項目（「先人たち」「文化伝統」「歴史遺産」「自然」「産業」「観光名所」「温泉」「食」「但馬のイベントカレンダー」）の情報をホームページに開示しており、但馬の全ジャンルを網羅した本格的なWeb上の百科事典として、地域の小学校の但馬調べに活用され、また、メディア（各地のTV放送局等）から、人物などの写真や紹介記事の使用について問合せが来るなど評価されている。

平成26年度は、「歴史遺産」の項目に国・兵庫県指定文化財（2頁）、「食」の項目に竹野おしあげ料理・紅ズワイガニなど（10頁）、「観光名所」に但馬国府・国分寺館など（5頁）、を追加する。また、26年度のメインとして、失われつつある地域文化である、但馬の伝説・伝承を後世の子どもたちに伝えるべく、伝統文化の項目に新しく追加する。また、NHK大河ドラマで放送されている「軍師官兵衛」の主人公である軍師官兵衛にちなみ、豊臣秀吉ゆかりの武将が治めた但馬の城めぐりを紹介するページを1式作成するなど内容の充実に努める。

2. 地場産業のイベントに対する助成事業

但馬の地場産業である製鞆業に対し、地場産業を活性化する目的で、豊岡鞆協会が主催する「かばんデザインコンテスト」へ例年一定の金額を助成する事業を行っており、平成26年度も「(公益財団法人) たんしん地域振興基金 理事長賞」として助成する。

3. たんしん経営塾OB会に対する助成事業

但馬の企業の経営者及び後継者、幹部等が集う「たんしん経営塾OB会」は、現在200名を超える規模となり、異業種交流やビジネスマッチングに不可欠な場となっている。そのOB会に、地域の産業活性化を目的として例年一定の金額を助成する事業を行っており、平成26年度も、同額を助成する。

IV. 管理部門（法人会計）

〔事業の方針〕

平成25年度は、平成23年10月に公益財団法人に移行して、2年目の事業年度であった。多くの公益法人が新制度で一般法人化する中であって、当法人は公益財団法人として認定された、当地域における民間の数少ない公益の助成機関として、コミュニティ活動や産業活性化の活動を支援し、豊かな住み良い地域社会の創造に寄与することが求められてきている。

平成26年度は、当法人への各方面からの期待や要請はますます高まるものと予想されるので、引き続き厳正な法人運営を行い、存続基盤の強化を図りたい。

1. 業務執行態勢の整備と強化

新法による新しい公益財団法人として、新定款による業務執行態勢の強化、必要に応じて内部規程の見直しやそれらに則った適切な法人運営を行う。

2. 情報公開

従来から求められている情報公開については、公益法人への移行と並行して平成23年1月より、当法人のホームページを充実して開示を行っている。開示項目は、公表が求められている電子公告や必要な規程等だけでなく、役員等の名簿、事業計画、事業報告も公表している。また、平成24年度より、経営塾の塾生の公募や助成金交付事業の公募もお知らせとして公表しており、平成26年度も、情報開示を積極的に行って、開示内容を充実させる。

3. 事務局職員の教育

事務局職員の決算事務に関するレベルアップや制度改革に関する法令等の知識に関するレベルアップを図るため、積極的に外部研修等に参加させることで、今後の制度改革や法令の制定・改定等に則った態勢整備に努める。